

ブリッジコンテスト（橋の模型を作ってみよう）

平成30年8月6日（月）に豊田高専環境都市セミナー室において、環境都市工学科による豊田高専わくわく広場（公開講座）「ブリッジコンテスト（橋の模型を作ってみよう）」が開催されました。

本講座は、中学生を対象とした講座で、ひのき棒によりブリッジ（橋）模型の制作を行い、その模型に力をかけてその強度を競う（ブリッジコンテスト）もので、これらの体験を通じて“もの（橋）づくり”の楽しさや奥深さを受講生に体験してもらうことを主な目的としたものです。本講座は大変人気があり、今年は定員15人を超える33人の応募がありましたが、全員受講することができました。

講座の前半では、橋の基本的な構造やメカニズムの説明を行い、その後、ブリッジ（橋）の模型の制作を行いました。ブリッジ模型は、ひのき棒とケーブルタイを用いて、受け取った基本設計図を基に、ひのき棒の切断、組み立て、ケーブルタイによる接合作業をティーチングアシスタントの本校学生と一緒にを行い、一般的なアーチ橋模型を作り上げてもらいました。これらの作業を通して、橋の基本的な仕組みや構造を知ることができたと思います。

講座の後半では、さらに橋模型の強度が増すよう参加者自身のアイデアでさらに模型の強度が上がるようオリジナルの補強を施してもらいました。模型制作が完了した後、ブリッジコンテストを実施しました。最大で4.5kgfに耐える模型を作った参加者をはじめ3名の方を表彰いたしました。

参加してもらった中学生のみなさんには、今回の講座を通じて、橋づくりの楽しさや奥深さを十分に味わっていただけたと考えております。

